

東北地方整備局 入札監視委員会（第二部会） 審議概要

開催日及び場所	令和3年12月17日（金） 東北地方整備局 会議室		
委員	部会長 小出 英夫 【（学）東北工業大学 工学部 教授】 部会長代理 砂田 洋志 【（国）山形大学 人文社会科学部 教授】 委員 真田 昌行 【弁護士】		
審議対象期間	令和3年4月1日 ～ 令和3年9月30日 （上記期間に契約締結した案件を審議）		
審議案件	総件数 6件 （別紙－1 審議案件一覧のとおり）		
工 事	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）	1件	（備考） ・審議に先立ち、下記(1)～(8)について、報告が行われました。 (1) 工事、建設コンサルタント業務等、 役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止等の運用状況 (3) 談合情報等の対応状況 (4) 再度入札における一位不動状況 (5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 (6) 一者応札の発生状況 (7) 不調・不落の発生状況 (8) 高落札率の発生状況
	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）	2件	
	工事希望型競争入札	0件	
	指名競争入札	0件	
	随意契約	1件	
	建設コンサルタント業務等	1件	
	役務の提供等及び物品の製造等	1件	
委員からの意見・質問、それに対する説明・回答	別紙－2のとおり		
委員会による意見の具申又は勧告の内容	本日の審議案件について、意見の具申又は勧告事項はありません。		

審 議 案 件 一 覧

【工事】

入札方式	工 事 名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契 約 締 結 日	契約の相手方	契 金 約 額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事）	小名浜港東港地区防波堤（第二沖）築造工事	港湾土木工事	7者	7者	R3. 6. 11	東洋・本間特定建設工事共同企業体	908,984	90.79	小名浜港湾

入札方式	工 事 名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契 約 締 結 日	契約の相手方	契 金 約 額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	秋田港外港地区防波堤（第二南）上部工事	港湾土木工事	2者	2者	R3. 6. 16	（株）清水組	171,600	98.26	秋田港湾
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	酒田港波浪観測装置設置工事	港湾土木工事	2者	1者	R3. 6. 11	（株）本間組	225,500	99.16	酒田港湾

入札方式	工 事 名	工事種別			契 約 締 結 日	契約の相手方	契 金 約 額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
随意契約方式	青森県西岸南部沖GPS波浪計撤去工事	港湾土木工事			R3. 7. 6	（株）細川産業	26,400	99.54	青森港湾

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業 務 名	業種区分	手続きへの参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契 約 締 結 日	契約の相手方	契 金 約 額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
一般競争入札方式	港湾整備に係る沿岸気象海象情報の予測情報等提供業務	建設コンサルタント等	1者	1者	R3. 4. 1	（一財）沿岸技術研究センター	36,520	99.36	港湾空港部

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業 務 名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契 約 締 結 日	契約の相手方	契 金 約 額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
一般競争入札方式	仙台塩釜港港湾業務艇建造	物品の製造等	3者	3者	R3. 6. 22	（株）小鯖船舶工業	222,200	96.59	仙台技調

1. 報告	
意見・質問	説明・回答
意見・質問なし	

2. 審議	
意見・質問	説明・回答
1 小名浜港東港地区防波堤（第二沖）築造工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・潜水士の作業について、捨石などの施工の誤差は約5 cmの精度と考えてよいか。 ・入札調書の施工体制評価点の点数の記入が無いのは、調査基準価格より下回ったためなのか。 ・入札価格が調査基準価格にかなり近い金額となっている理由は、どのようなものが考えられるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そうです。 ・調査基準価格に満たない応札者について、施工体制の確認に係る追加資料を求めます。追加資料の提出を辞退したことから無効扱いとなります。 ・積算基準、見積参考資料（金抜き設計書）や各種単価も公表済みです。また、過去の同種業務の積算内訳書も公表されていることから、各入札者において精度の高い積算が可能であったと思われる、この工事は工事規模が大きいので受注意欲の表れとして、調査基準価格に集中したと推測しております。
2 秋田港外港地区防波堤（第二南）上部工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・応札者が2者であるが、発注の時期をずらすなど応札者が増える工夫はできなかったのか。 ・この防波堤の工事は、今後も先端部分について施工する計画なのか。 ・地元業者が非常に忙しいので、応札者が2者ということだが、実質的な競争が十分じゃないと思うが、実質的に応札者を増やすというようなことは何か考えられているのか。 ・プレキャスト化すると応札者が増えて競争が高まるということを想定しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、秋田では洋上風力の建設工事が大手企業等を中心として進められており、地元企業も工事に従事しております。今年度は洋上風車の基礎部分の洗掘防止の石を設置する工事が年間を通じて施工しております。本工事は早期発注に努めているところですが、秋田県内の状況としましては、年間を通じて施工できる可能な時期は地元業者が非常に多忙であったと推察しております。 ・防波堤の暫定上部工を施工しておりまして、高波浪が来ると防波堤を乗り越えて港内に波が入っています。これまで防波堤を延伸するところに傾注していましたが、今後は、完成上部を整備していくことで港内の静穏性の向上を図りたいと考えております。 ・応札者が少ないということで、入札説明書をダウンロードした者などにヒアリングしたところ、工事の発注時期、洋上作業で荒天によるリスクが非常に高い、技術者が配置できない、適正な利益を上げられるのかなど、あとは週休2日の確保に懸念があるということでした。今後も早期発注に努めるよう取り組みます。また、洋上作業を減らし陸上で製作できる部材のプレキャスト化の構造を検討しているところです。 ・プレキャスト化によって、海上作業の手戻り等のリスク管理が軽減すると考えております。

<p>3 酒田港波浪観測装置設置工事</p>	
<p>・技術提案評価型S型のWTO以外で加算点50点で1テーマの総合評価を適用したものです。加算点60点の2テーマもあるが、今回は、1テーマだけを求めるということで、追加的な技術提案がなかったのか。</p> <p>・応札者が2者で、うち1者が辞退ということで、結果1者となっている。 地域の事情があると思うが、発注時期をずらす、参加資格の要件を緩和するなど、応札者を増やすことが出来なかったのか。</p> <p>・要するに、条件を広げれば確かに応札者は増えるかもしれないが、技術的にちょっと不安になるので、いつも地方整備局の方でも発注するときに悩みながらというか、その兼ね合いを見ながら、要件の緩和をしているという理解でいいか。</p>	<p>・技術提案の評価項目のテーマ数につきましては、1テーマとしております。</p> <p>・入札参加者を増やす対応としては、施工実績の要件を緩和しております。 本工事の施工場所は水深が40メートルです。施工実績の要件は通常1/2で設定していますが、1/3で設定し13メートルで要件を緩和しております。</p> <p>・そうです。</p>
<p>4 青森県西岸南部沖GPS波浪計撤去工事</p>	
<p>・工事を実施しているうえで、契約変更は実施しているのか。</p> <p>・入札不調となった工事に、(株)細川産業が応札しなかった理由はなにか。 随意契約の見積合わせ時の1回目の金額が予定価格と開きがあることが理由なのか。</p> <p>・破断の危険性が分かったのが少し遅れたので、入札時期が遅れたのか。その点の反省点はあるのか。</p> <p>・随意契約に移行する判断は、最終判断は誰なのか。</p>	<p>・変更契約は、当初計上していなかった架台の架設部分について実際現地で行った仮設に併せて変更契約しております。 海上作業については、予定通りの施工で、変更の対象にはなっておりません。</p> <p>・入札不調の後にヒアリングしたところ、(株)細川産業の参加しなかった理由は、配置技術者が他の工事と重複するおそれがあり他工事を優先したということ、起重機船も別な工事に作業していたということでした。</p> <p>・当初の4月に公告した時点では、予定通り契約を締結すれば海上作業は間に合いましたが、不調の後に再度の入札公告しますと、タイミングが少し遅かったということです。そこで、起重機船の在场状況等を確認して随意契約に移行しました。</p> <p>・青森港湾事務所長の判断になります。</p>
<p>5 港湾整備に係る沿岸気象海象情報の予測情報等提供業務</p>	
<p>・総合評価落札方式標準型1:3ですが、評価テーマは2つ以上の適用していると思うが具体的にどのようなテーマなのか。</p> <p>・標準型1:3の評価テーマは、2つ以上とあるが、どのように適用しているか。</p> <p>・コンサルタント業務だと各社が優れた技術提案を出して評価の点数の獲得を狙ってくると思うが、今回の結果は、整備局として想定し期待していた技術提案だったのか。</p> <p>・毎年の業務で、応札者の状況から考えると、より優れた技術提案を引き出す工夫をされた方がよいと感じました。</p> <p>・標準型1:3ということで、技術評価点の点数は数十点に対して価格評価点の点数は、小数点以下となっているが、この場合はどうしても価格面で入札額と予定価格との差が小さい結果でありうるという制度設計上の考えなのか。</p>	<p>・評価テーマの1つ目「沿岸気象海象の予測精度を高めるための技術的な方法」、2つ目「防災対策を支援する効果的な予測情報提供の具体的な方法について」となります。</p> <p>・基本的に標準型1:3の場合は、評価テーマは2つを適用しており、標準型1:2の場合は、評価テーマは1つを適用しております。</p> <p>・評価の結果としては、適格性、実現性をやや優れているという判断をしております。</p> <p>・応札者が予定価格の付近の価格ですと価格評価点は小数点以下となります。本業務は、このような発注方式を採用しております。</p>

6 仙台塩釜港港湾業務艇建造

・今回は建造の入札ですが、船の維持管理とは、どのようにするのか。

・船ごとか、それとも、整備局所有の船を一括で維持管理しているのか。

・建造した者が維持管理を実施しているのか。

・船は基本的に購入になるのか。

・船の維持管理は、毎年、一般競争の修理工事を実施しております。

・1隻ごとの維持管理をしております。

・船の所在する近辺の造船所の実績が多いです。

・整備局が要求する性能等に合わせて船を建造しております。